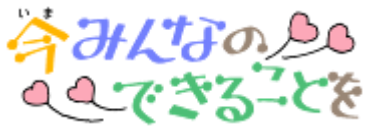


みやぎ地域づくり交流会

2015年9月1日

発行
みやぎ地域づくり交流会



きずな通信 N018

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

前橋市地域づくり連絡会・いわき市交流視察事業参加報告



7月26日(日)に「前橋市地域づくり連絡会等」によるいわき市の地域づくり団体との交流・視察が実施され、市内から12団体27名、本会から3名が出席しました。

今回のこの視察・研修は、4年前に発生した東日本大震災の救援復興を契機に本市といわき市が職員の相互派遣を開始して、今もなお協力関係にあることから、両市の地域づくり団体の相互の交流も図ることとなりました。

内容は、いわき市南部の勿来地区(小浜・岩間・錦須賀)の津波被災地を視察するとともに、NPO法人「勿来まちづくりサポートセンター」の取り組みの概要についてスライドを使用され、ご説明をいただきました。

視察では、津波被災地の被害状況が、想像以上に甚大だったことを目のあたりにしました。防災集団移転でない地区では、防災緑地を設けた区画整備等が行われていました。また、海岸

線では防潮堤のかさ上げ工事が着々と進められていました。整備により海が見えない環境となり、美しい海岸線の風景は損なわれると思いますが、住民の生命・財産を守ることが最優先のためということでしょう。

当地域で復興支援組織として活動しているNPO法人「勿来まちづくりサポートセンター」は、平成23年6月6日に設立され、被災地の生活再建や原発事故による双葉郡からの避難者受け入れ・風評被害等の複雑化した問題に対処するため、「復興計画」「グループ」、「生活支援グループ」等による取組みを継続しているとのこと。活動するうえで特に、「被災された方が生活に張り合いがもてる」ように心がけているとのことでした。これからの地域活動は、「住民の地域力」が求められるとのことでした。また、震災の実体験と怖さを次の世代に伝え残すため、タイムカプセルに保存することに取り組むとのことでした。

最後になりますが、被災地の復興を祈念するとともに、今回の視察研修にご多忙なところ対応していただき、さらに交流を深めることができましたNPO法人の皆様へ厚く感謝申し上げます。



「赤城白川まつり」に参加して

南橋地区地域づくり
毎年、4月29日に実施されている「赤城白川まつり」に参加して来ました。

細井小西の土手道に午前10時半集合。市長・県議・市議等々あいさつ。参加者はなんと四百人ぐらいいたので

は？
河川敷両岸、上流下流の4組に分かれて、袋を預かり、ゴミ拾いをしました。約500mを折り返してくると、焼きそばとお茶が貰えました。

「・・・まつり」という呼びかけではありますが、大規模クリーン作戦でありました。



納涼祭数当てドン協力とオリジナルTシャツ販売

8月2日毎年恒例の地区納涼祭が行われ、地域づくり交流会ではイベント部会の数当てドンを担当。今年は117ヶの小袋ポツプコーンの数を当ててもらいましたが、118ヶの回答が2名いました。ただ結果発表前の雨



数当てドンのブース風景

で表彰該当者が帰られてしまい、不在者が多かったのがちよっと残念でした。
また、今年も地域づくりオリジナルTシャツの新作を販売し好評を得ました。11月のみやぎいいもん祭りでも販売予定です。ご期待ください。



好評の新作Tシャツ

七夕ファミリー きずな劇場 第11話

秋といえぼ・・・

きい～せつのお
かわりめをおへ～

博士
ごんぼってー

秋はおいしいもの
たくさん！

秋といえぼ・・・

おなかいっぱい
zzz

秋はおいしいもの
たくさん！

秋といえぼ・・・

この本も面白いわ

この本面白いの

秋といえぼ・・・

結局、ばば君は
寝っばなし!?

おやすみ～

眠りの秋

©みやぎ地域づくり交流会

みやぎ地区の地域づくり活動ビデオ上映 大好評。

6月21日(日)「見て・知って・体験して、地域の活動につなげよう」をテーマに、総合福祉会館において地域づくり交流 フェスタ 2015 が開催されました。会場には各地区地域づくり協議会活動パネル展が並ぶとともに地域づくりに活用できる「マイ箸」づくり教室、子育て支援 寝相アート講座、子ども八木節、太々神楽などの舞台、恒例になりました地域のおいしいものが集合した「きよさと焼」「上川淵古代米」「ハーブティ」「チャイ」などの試食、試飲もありました。



開会式



みやぎ地区の展示パネル



みやぎ地区活動ビデオ上映

宮城地区 石の伝説 ⑫

うずら山の境界石

この石は伝説のある石ではないが、行政区域の形成過程上、貴重な石なので紹介したい。

鍋割山南麓にあるうずら山々頂には、柏倉町(旧宮城村)、東金丸町(旧大胡町)、金丸町(旧前橋市)および富士見町赤城山(旧富士見村)の旧4市町村の境界が一点に集中していることを示す標石がある。

記録によると、うずら山を含む赤城山南西地一帯は御料地で、168町村が入会権をもち紛争が絶えなかったため、明治14～15年に測量し境界を確定した。うずら山の標石は、その際、設置されたのである。その後、明治22年の町村制施行により各入会地域は関係町村(1町17村)に編入され現在の形になったと思われる。

なお、山頂にある旧四か町村名が彫られた自然石には「芳賀村」とあることから、芳賀村が前橋市と合併する(昭和29年4月)以前に設置されたものと推定できる。